

ESA に複数の証明書を適用し、それらを異なるインターフェイスまたはリスナーに割り当てることは可能ですか。

目次

[はじめに](#)

[ESA に複数の証明書を適用し、それらを異なるインターフェイスまたはリスナーに割り当てることは可能ですか。](#)

概要

この文書に E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) の多重 認証を加え異なるインターフェイスからリスナーに割り当てる方法を記述されています。

ESA に複数の証明書を適用し、それらを異なるインターフェイスまたはリスナーに割り当てることは可能ですか。

Cisco ESA で、多重 認証をインストールし、リスナー 1人あたりに割り当てることができます。どちらかを使用して TLS 接続に個々のパブリックか私用リスナーに GUI 証明書を割り当てることができます: ネットワーク > リスナーまたは CLI: `listenerconfig > Edit > 証明書`。

TLS 証明書を GUI で割り当てるために、リスナーを作成するか、または編集した場合ほしく、入り、選択して下さい変更を証明書セクションで保存して下さい証明書を。

証明書を CLI によってリスナーに割り当てるために、次の手順に従って下さい:

1. 設定したいと思うリスナーを選択する `listenerconfig > Edit` コマンドを使用して下さい。
2. 利用可能な証明書を見る `certificate` コマンドを使用して下さい。
3. プロンプト表示された場合リスナーに割り当てたいと思う証明書を選択して下さい。
4. 終了するときリスナーを設定します、変更をイネーブルにする `commit` コマンドを発行して下さい。